

水道情報活用システム標準仕様研究会
第3回 通常総会
【第二号議案】

2023年度事業計画(案)

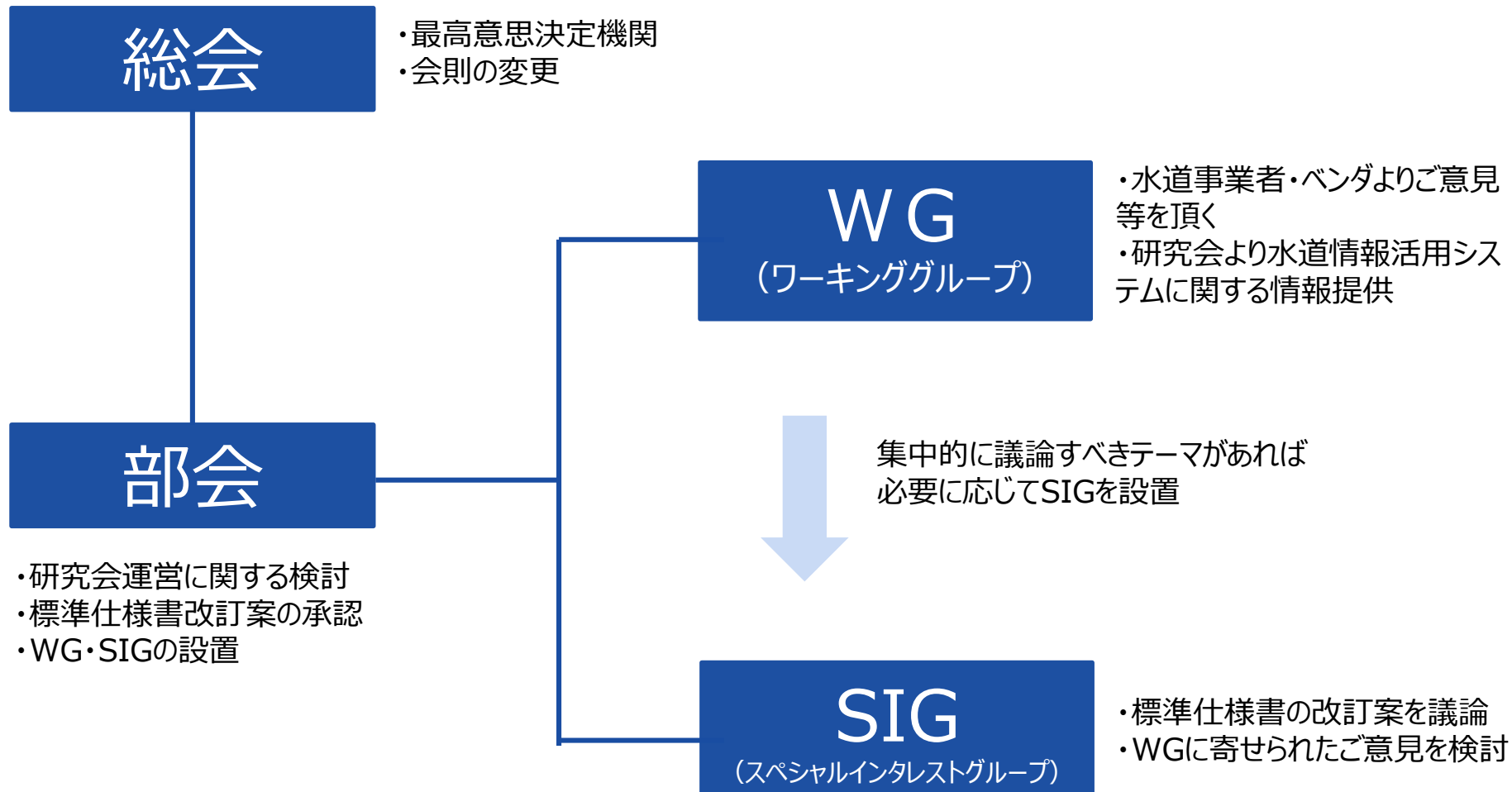
2023年5月25日

水道情報活用システム標準仕様研究会 事務局

1. 研究会の活動体制
2. 2023年度の研究会の主な活動テーマについて
 - 2-1 アンケート結果について
 - 2-2 主な活動テーマと対応イメージについて
3. 2023年度の活動スケジュール
4. 各活動イメージについて
 - 4-1 アセットマネジメントSIGの活動イメージ
 - 4-2 料金・会計SIGの活動イメージ
 - 4-3 水道情報活用システムの普及活動イメージ
 - 4-4 水道情報活用システムの普及促進に向けた今後の企画検討について

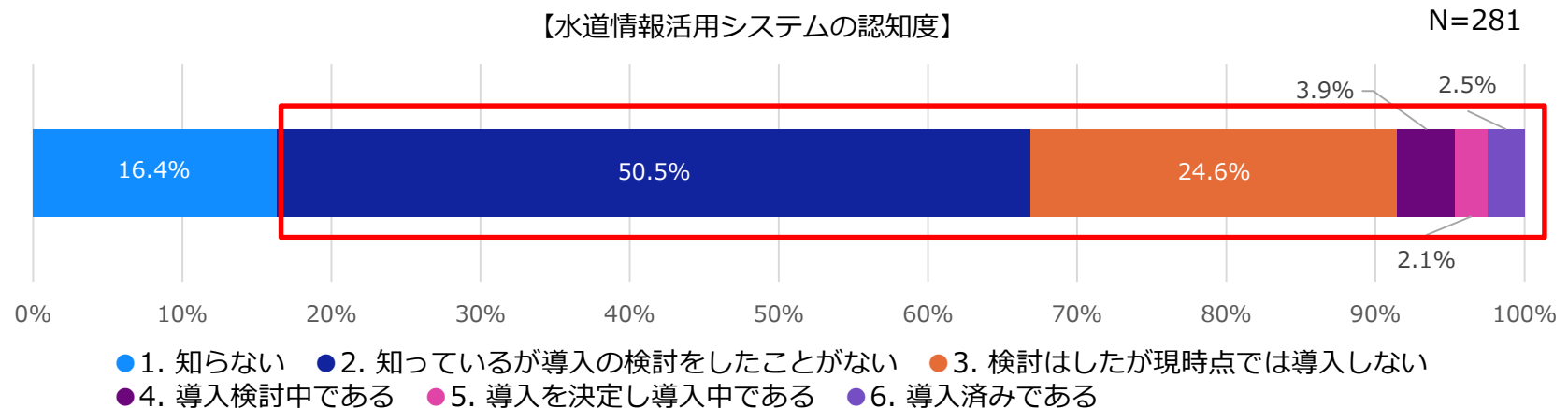
1. 研究会の活動体制

- ✓ 研究会に設置される各会議体と各会議体の主な役割は以下のとおりです。
- ✓ WGは水道事業者・ベンダよりご意見等を頂く場として年2回の開催予定です。
- ✓ SIGは標準仕様書の改訂案を議論する場として、議論すべきテーマにより必要に応じて随時設置されます。



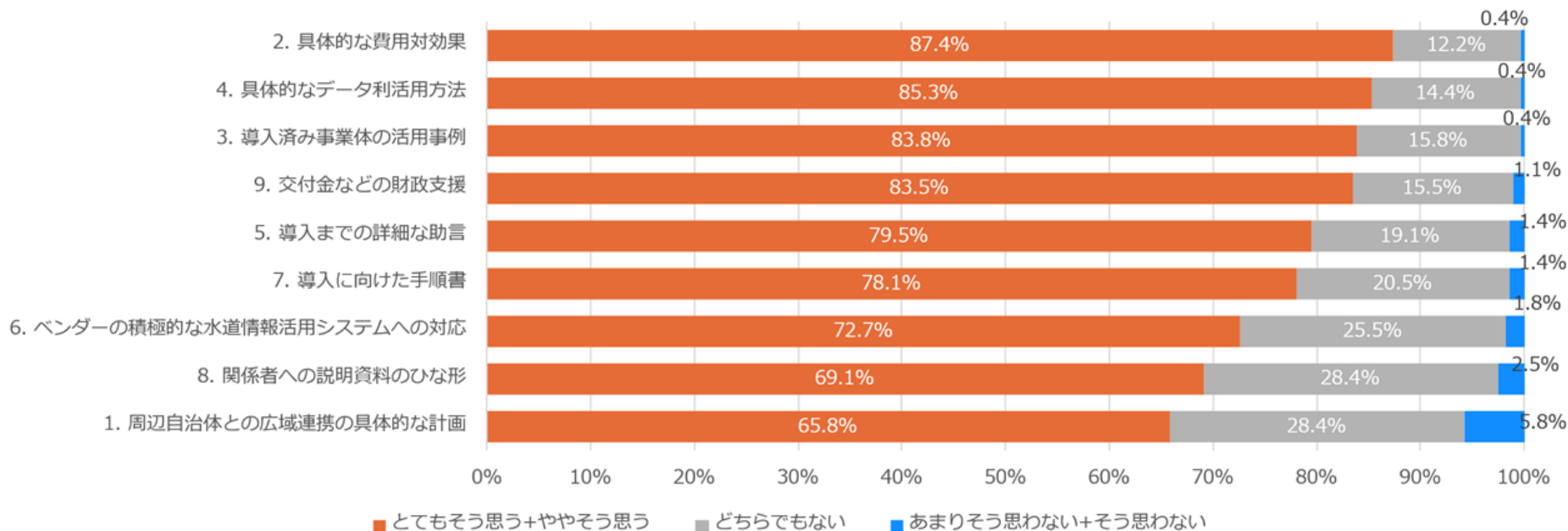
2. 2023年度の研究会の主な活動テーマについて

- ✓ 2022年度に、独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）様にて行われた**水道事業者様を対象に行ったアンケート「水道情報活用システムの認知度」**では、水道情報活用システムの**認知度は8割強**との結果となっていることから、今後は、水道事業者様の水道情報活用システムへの**興味度向上**や水道情報活用システム**導入促進に向けた水道事業者様への支援**にも注力していければと考えます。



- ✓ 同アンケート「導入を決定しやすくなる仕組み・要素」として、以下のような回答が得られております。
- ✓ これらのご意見を念頭におき、水道情報活用システムの普及促進に取り組んでいければと考えておりますので、関係者の皆様からもご支援を賜れましたらと存じます。

【導入を決定しやすくなる仕組み・要素（とてもそう思う+ややそう思うの和の降順）】 N=278



出所：IPA 水道情報活用システムの認知・導入状況及びデータ活用に関するアンケート調査結果

- ✓ アンケート結果も踏まえ、2023年度の研究会の主な活動テーマと対応イメージとして以下を考えております。

主な活動テーマ	対応イメージ
データ利活用の推進	<ul style="list-style-type: none">・アセットマネジメントシステムや料金システム・会計システムについては、SIGにて、データ利活用について議論を行う。・アセットマネジメントシステム・料金システム・会計システム以外のシステムについても、データ利活用を議論いただく場を設ける。
独自インターフェイスの取扱い対応	<ul style="list-style-type: none">・「独自方式（独自インターフェイス）」での接続について、暫定期間が2024年3月31日となっている。・今後の取扱いについて、会員意見を踏まえた研究会案の取り纏めを行う。
水道情報活用システムの導入促進に向けた情報発信・支援	<ul style="list-style-type: none">・水道情報活用システムについて認知で留まっている水道事業者様に対し、「導入された水道事業者様の事例」・「関係者向け説明資料」等を発信することにより、普及支援を推進する。

3. 2023年度の活動スケジュール

✓ 今年度の主な活動スケジュールとして、以下を予定しております。

活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審査委員会						▲						▲
総会		▲										
仕様メンテナンス部会	●—————▶ 標準仕様の維持・メンテナンス											
WG		▲ 事業者WG・ベンダWG						▲ 事業者WG・ベンダWG				
アセットマネジメントSIG	●—————▶ 標準IF取扱い対応、データ利活用を念頭においたマクロマネジメント等											
料金・会計システムSIG	●—————▶ 標準IF取扱い対応、データ利活用等											
データ利活用の推進	●—————▶ データ利活用の進め方について、幅広く検討できる場を設置											
独自IFの暫定期間延長可否	●—————▶ 独自IFの暫定期間延長の可否について、研究会案の取り纏め											
運営検討部会	●—————▶ 入会審査、事業報告・事業計画の審議											
普及活動	●—————▶ 研究会主催の説明会を実施、水道事業者等を対象とした外部の説明会への参加、水道情報活用システムの導入促進に向けた情報発信・支援											
研究会主催の説明会等	▲ ミニウェビナー			▲ ウェビナー		▲ 各都市での説明会						

4. 各活動イメージについて

✓ アセットマネジメントSIGでは、**マクロマネジメント**について取組む予定です。

① ミクロマネジメント

1) 項目について ➡ **2021年8月にHP公開**

- ・ミクロマネジメントに必要な項目を洗い出す。
- ・項目の意味の定義を合わせる。
- ・階層の定義を行う。

2) 業務のオペレーションについて ➡ **2023年3月にHP公開**

- ・各事業者様のミクロマネジメントの実務を共有し、他の事業者様のオペレーションとのレベル合わせを行う。
(日常の業務の中で情報をアップデートする作業性等)

② マクロマネジメント

1) 項目について

- ・マクロマネジメントに必要な指標について
- ・施設台帳で必要な項目とは
- ・その他のシステムとの連携やシステム外で必要となる情報について

2) 投資の平準化

- ・平準化のためのオペレーションはどうすべきか。(予防保全、修繕優先度、更新優先度 など)

➡
**2023年度
より取組予定**

③ 統計

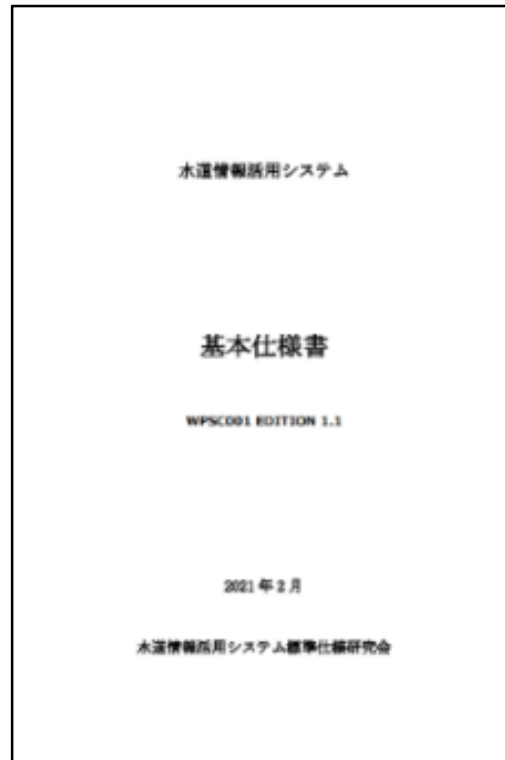
- ・必要な統計を洗い出し、そのために必要な項目を列挙する。

④ ①～③のまとめ

- ・標準項目を定義
 - ・給水人口別に必要な項目
- } 蓄積すべきデータの整理

- ✓ 料金・会計SIGでは、データ利活用や暫定措置となっている独自インターフェイスの今後の有り方についての議論する予定です。

料金システムと会計システムにて、水道標準プラットフォームにデータ蓄積する際の項目名（業務名（中区分）、データ項目区分名（小区分））について、2022年2月から検討開始し、メールでの7回のヒアリング、6回のSIG会議を通じて、取り纏め頂き、標準仕様書の改定を実施しました。



参考イメージ（業務名）

No.	システム	業務	データ項目 区分コード（8桁）
1	公営企業会計システム	固定資産台帳	先頭5桁 “D0101” 固定
2		工事台帳	先頭5桁 “D0102” 固定
3		決算	先頭5桁 “D0103” 固定
4		予算関連	先頭5桁 “D0104” 固定
5		執行（支払）関連	先頭5桁 “D0105” 固定
6		執行（調達、収入）関連	先頭5桁 “D0106” 固定
7		企業債	先頭5桁 “D0107” 固定
8		貯蔵品（物品）	先頭5桁 “D0108” 固定

参考イメージ（データ項目区分名）

表 6-5:公営企業会計システム/固定資産台帳

No.	データ項目 区分コード (8桁)	データ項目区分名	内容
1	D0101001	固定資産番号	固定資産台帳に記載の資産情報を一意に管理するための番号
2	D0101002	資産名称	固定資産台帳に記載の資産の名称
3	D0101003	会計区分	固定資産台帳に記載の資産の会計区分
4	D0101004	科目名称	固定資産台帳に記載の資産の勘定科目名称であり、公営企業会計および事業体の財務規則に準拠した名称。公営企業会計の財務情報との紐付けに必要。
5	D0101005	取得年度	固定資産台帳に記載の資産を取得した時点の年度。 取得時点の年度であり、資産の工事等による設置完了時点（供用開始）の年度とは異なる。なお、取得した年月日より減価償却が行われるため、財務諸表作成においては必須情報となる。
6	D0101006	取得日付	固定資産台帳に記載の資産を取得した時点の日付。 取得時点の日付であり、資産の工事等による設置完了時点（供用開始）の日付とは異なる。なお、取得した年月日より減価償却が行われるため、財務諸表作成においては必須情報となる。
7	D0101007	償却開始日付	固定資産台帳に記載の資産の減価償却を開始した日付。 取得年月日より減価償却を開始するため、財務諸表を作成する上で必須情報となる。
8	D0101008	償却開始年度	固定資産台帳に記載の資産の減価償却を開始した年度。 取得年月日より減価償却を開始するため、財務諸表を作成する上で必須情報となる。

データ利活用を念頭においた区分名について整理できたことから、2023年度は、標準IF対応やデータ利活用について議論する予定です。

✓ 水道情報活用システムの普及推進に向け、以下のような活動を行って参ります。

区分	活動イメージ																									
<p>研究会主催の普及活動</p>	<p>・水道事業者様・ベンダ様の認知度向上のため、さまざまな媒体での発信に努める。 ・水道事業者様の導入検討のため、ウェビナー・各地での説明会を開催する。</p> 																									
<p>外部説明会への参加</p>	<p>・官民連携推進協議会などのような外部説明会の場に積極的に参加し、水道情報活用システムの概要および研究会の活動内容の周知を図る。</p> <table border="1" data-bbox="1489 768 1837 1008"> <caption>開催内容</caption> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催地</th> <th>開催日時</th> <th>会場</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>山形県</td> <td>令和4年10月12日(水) 13時00分~17時00分</td> <td>山形市民会館 2階 大会ホール [山形県外務局(2-9-45)]</td> <td>議題</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>福岡県</td> <td>令和4年11月18日(金) 13時00分~17時00分</td> <td>九州庁舎 4階 大会室 [福岡県博多区博多駅前1-9-31]</td> <td>議題</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>茨城県</td> <td>令和4年12月4日(水) 13時00分~17時00分</td> <td>公益財団法人茨城県情報公社 大会室 [茨城県水戸市佐原町976-25]</td> <td>議題</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>三重県</td> <td>令和4年2月2日(水) 13時00分~17時00分</td> <td>公益財団法人三重県労働福祉協会の 講堂 [三重県津市津1-9-1]</td> <td>議題</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催地	開催日時	会場	内容	第1回	山形県	令和4年10月12日(水) 13時00分~17時00分	山形市民会館 2階 大会ホール [山形県外務局(2-9-45)]	議題	第2回	福岡県	令和4年11月18日(金) 13時00分~17時00分	九州庁舎 4階 大会室 [福岡県博多区博多駅前1-9-31]	議題	第3回	茨城県	令和4年12月4日(水) 13時00分~17時00分	公益財団法人茨城県情報公社 大会室 [茨城県水戸市佐原町976-25]	議題	第4回	三重県	令和4年2月2日(水) 13時00分~17時00分	公益財団法人三重県労働福祉協会の 講堂 [三重県津市津1-9-1]	議題
回数	開催地	開催日時	会場	内容																						
第1回	山形県	令和4年10月12日(水) 13時00分~17時00分	山形市民会館 2階 大会ホール [山形県外務局(2-9-45)]	議題																						
第2回	福岡県	令和4年11月18日(金) 13時00分~17時00分	九州庁舎 4階 大会室 [福岡県博多区博多駅前1-9-31]	議題																						
第3回	茨城県	令和4年12月4日(水) 13時00分~17時00分	公益財団法人茨城県情報公社 大会室 [茨城県水戸市佐原町976-25]	議題																						
第4回	三重県	令和4年2月2日(水) 13時00分~17時00分	公益財団法人三重県労働福祉協会の 講堂 [三重県津市津1-9-1]	議題																						
<p>水道情報活用システムの導入促進に向けた情報発信・支援</p>	<p>・水道情報活用システムを導入検討する水道事業者様の参考となるような情報について、水道事業者様がいつでも取得できるよう、ホームページ等を活用し情報発信を行う。また、発信内容は、映像コンテンツなど、より理解して頂きやすい発信方法も検討する。</p> 																									

- ✓ また、水道情報活用システムの普及推進に向け、以下のような活動についても企画を検討していければと考えております。

普及促進に向けた企画検討のイメージ

■ 研究会会員向けイベントの強化

- ✓ 水道情報活用システムに興味を持つ**水道事業者様とベンダ様のマッチングイベントの開催**
- ✓ 水道情報活用システムを導入された**水道事業者様を視察**
- ✓ 最新の技術動向・事業運営などに関する**勉強会や有識者による講演等の開催**

■ 水道事業者様向け支援活動の強化

- ✓ 水道情報活用システムを導入検討する水道事業者様の参考となるよう、**導入事例（導入までの進め方や導入による効果等含む）、庁内向け説明資料等**の情報提供
- ✓ 水道情報活用システムの具体的な導入を進める水道事業者様に対し、これまでの導入事例等を基にした**状況に合わせた個別相談への対応**